



地域における共助の基盤づくり事業 支え愛マップ作成の様子（掛相区）

- 夏休みボランティア体験事業……P2、P3
- 鳥取県社会福祉協議会会長表彰……P5
- 新職員紹介、生活支援コーディネーター……P7

- 地域における共助の基盤づくり事業……P4
- 赤い羽根共同募金、子ども用品譲渡会……P6
- 令和7年度社会福祉推進大会……P8

南部町社会福祉協議会

本 所：法勝寺331-1

総合福祉センターしあわせ内

0859-66-2900

会見支所：浅井938

総合福祉センターいこい荘内

0859-64-3515



最新情報はここから

夏休みボランティア体験

赤い羽根共同募金助成事業



夏休みボランティア体験とは？



小学生・中学生のみなさんに夏休み期間を利用して、町内施設や地域でボランティア活動に参加してもらい、体験を通して福祉や地域のことを知ってもらったり、自分で考えて行動する力やコミュニケーション力を学んでもらうものです。

小学生 ボランティア 体験

小学5年生・6年生を対象に、小学生が会場となった総合福祉センターいこい荘で、2日間の地域福祉サービス体験をしました。高齢者疑似体験、配食サービスの弁当の配達、西伯病院通所部門見学、支え愛マップづくり等、体験を通して、実際に自分たちで見て、聞いて、考えながら、楽しく福祉活動を学びました。



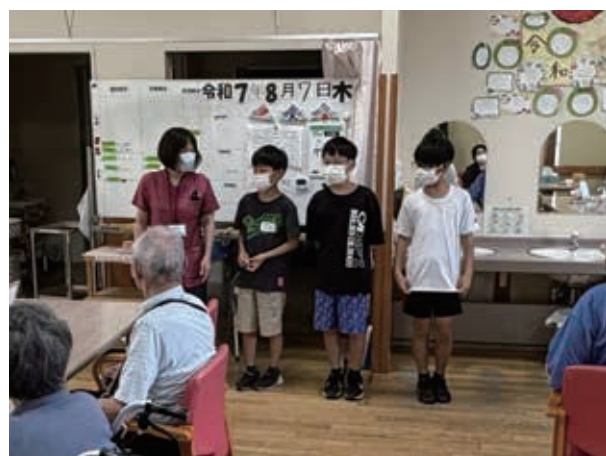
●支え愛マップ作り



●eスポーツ×高齢者疑似体験



●赤い羽根共同募金を知ろう



●西伯病院通所部門見学

中学生 ボランティア 体験

中学校1年生～3年生を対象に、中学生が町内の社会福祉施設や社会福祉協議会で3日間の福祉施設体験をしました。それぞれの体験先では、利用者の方や職員の方々と同じ時間を過ごし、実際に地域に出ることで、現場の声や状況を知るなど、学びのある3日間になりました。

高齢者福祉施設体験

入所施設で、利用者の方とお話をしたり、暮らしのお手伝いをしました。



●歌をうたっている様子🎵

障がい者福祉施設体験

施設や作業所で、利用者の方と一緒に作業やレクリエーションをしました。



●ラベルシールを貼る作業🍪

児童福祉施設体験

保育園や学童保育で、園児や児童のお世話をしたり、一緒に遊びました。



●コマ回しで遊んでいる様子🎌

地域福祉サービス体験

支え愛マップ作り等の様々な体験をした他、町内のボランティアさんと一緒に活動もしました。



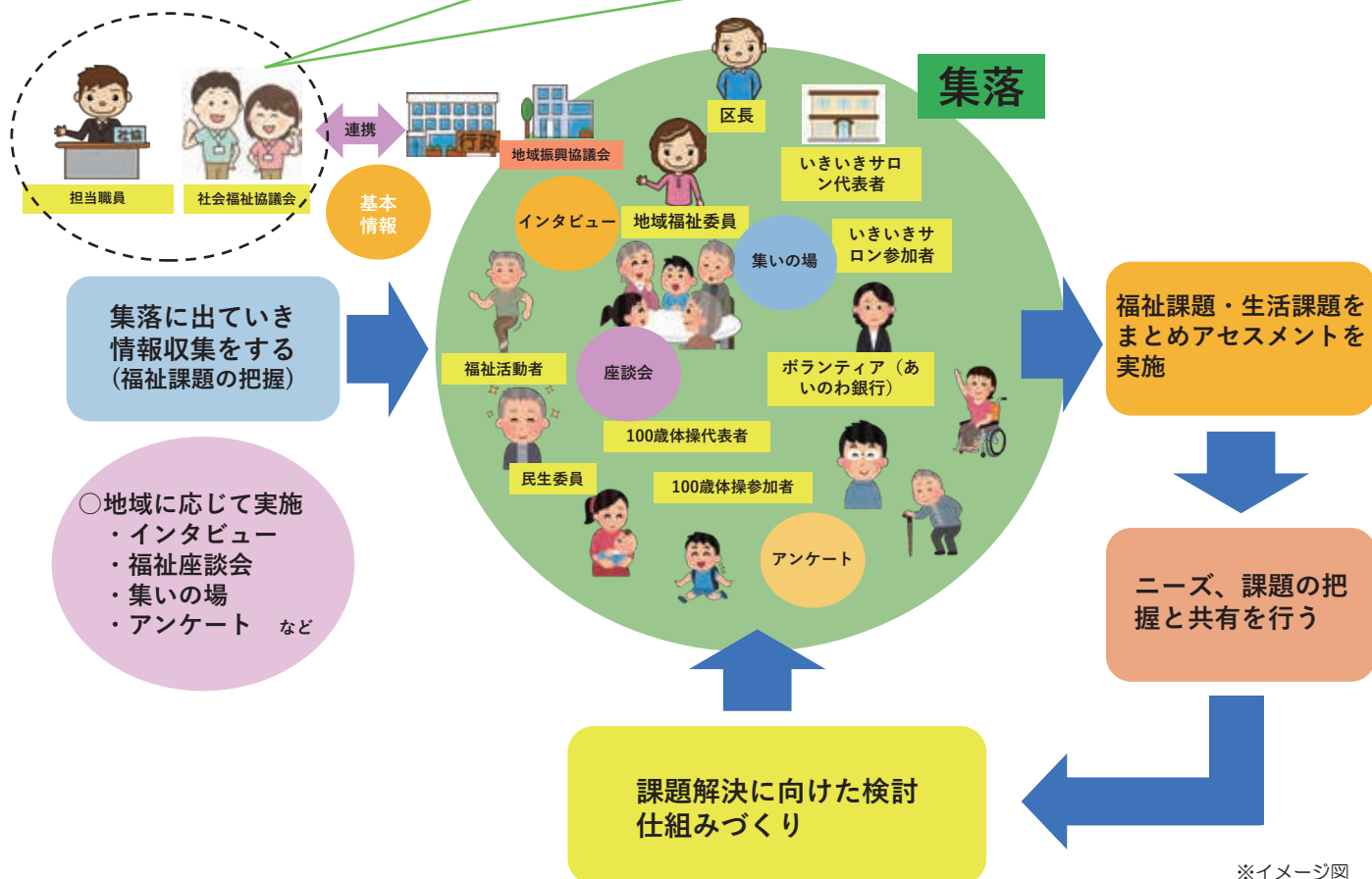
●南部町楽食クラブとの活動🍲

令和7年4月から

「地域における共助の基盤づくり事業」 を始めました

住民の皆さんの一番身近な生活基盤である単位集落に職員全員で出かけ、集落の皆さんと一緒に客観的な視点で集落の実態把握や情報収集を行います。収集した情報によりアセスメントを行い、集落の強みや特性、生活課題、福祉課題を共有し、持続可能な支えあう共助の集落づくりを推進・支援し、住民の皆様が生き生きと暮らし続けられる町づくりに取り組みます。

集落の集いの場などに出かけ、皆さんと思いやニーズを共有しながら福祉課題の解決を目指します。



※イメージ図

集落や地域に愛着や役立ち感を持つ方々を増やし、つながり、支え合う共助の集落づくりを推進、支援します。

令和7年度 県民総合福祉大会

《鳥取県知事表彰》（敬省略）

ボランティア功労（個人）

氏名	所属
西村 芳子	地域福祉委員（法勝寺7区）

受賞おめでとうございます

令和7年9月11日（木）、県民総合福祉大会が鳥取市のとりぎん文化会館で開催され、福祉活動功労者の表彰式が執り行われました。本会より推薦し受賞された皆様のご紹介です。永年にわたる福祉活動に対しまして、心から感謝申し上げます。

《鳥取県社会福祉協議会会長表彰》（敬省略）

民生委員・児童委員功労

氏名	所属
板 秀樹	南部町民生児童委員協議会
垂水 英俊	南部町民生児童委員協議会
河野 早苗	南部町民生児童委員協議会
新井 将司	南部町民生児童委員協議会

ボランティア功労（個人）

氏名	所属
陶山 睦子	南部町赤十字奉仕団
北尾 幸枝	南部町赤十字奉仕団
玉木 久美子	花 一 輪 の 会
枝野 和子	配食配達ボランティア
吉持 悦郎	配食配達ボランティア
山尾 修一	配食配達ボランティア
本庄 汪	配食配達ボランティア
山本 令子	配食配達ボランティア
野口 裕子	地域福祉委員（東西町2区）
石田 房恵	地域福祉委員（いずみ）

社会福祉施設・団体職員功労

氏名	所属
田子 真由美	社会福祉法人 伯耆の国
西村 和哉	社会福祉法人 伯耆の国
藤川 淳子	社会福祉法人 伯耆の国
安達 めぐみ	社会福祉法人 伯耆の国
新廣 明美	社会福祉法人 伯耆の国
遠藤 咲紀子	社会福祉法人 伯耆の国
矢田貝 真由美	社会福祉法人 伯耆の国
天野 育江	社会福祉法人 伯耆の国
種 敏勝	社会福祉法人 伯耆の国



▲ 主催者（県知事）あいさつ

▼ 野の花診療所 徳永進氏による講演



▲ 南部町からご参加いただいた皆さん

赤い羽根共同募金



10月1日～12月31日

「赤い羽根共同募金運動」が今年も始まりました！

お寄せいただいた募金の70パーセントが南部町で行う福祉活動へ、残りの30パーセントが鳥取県全体の福祉活動や災害支援に使われています。

今年も皆さまのあたたかいご理解とご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金運動（歳末たすけあい含む。）では南部町だけで2,710,186円の募金が集まり、以下の事業などが共同募金の財源で実施されました。



年末福祉事業 お餅配布
南さいはく地域振興協議会



世代間交流事業
御内谷区

令和8年度 助成事業 募集中

受付期間:

R7 9月4日(木)～R7 12月19日(金)

南部町共同募金委員会

TEL : 66-2900

赤い羽根共同募金は、社会福祉法の定めにより実施する、地域福祉のための募金です。

開催します！

子ども用品譲渡会

2025.11.29（土）10:00～12:00

キナルなんぶ多目的ホール

📍（南部町法勝寺341）

子ども衣類(新生児～140cm)、ベビーカー、チャイルドシート
事前受付しています！！

受付場所：総合福祉センターしあわせ 南部町社会福祉協議会窓口

受付期間：11/4（火）～11/27（木）

8：30～17：00（土・日・祝日はお休み）

使わなくなった子供用品があればぜひご提供ください！

詳しくはHPへ→



ありがとうございました



(令和7年6月1日から令和7年8月31日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業などの福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称略)

寄付者名	集落名	故人名	金額(円)
安達 武志	谷川	安達 早苗	金一封
手嶋 千恵里	上阿賀	手嶋 淳	100,000
種 なご美	上阿賀	種 丹景	金一封
石塚 誠一	朝金	石塚 一愛	金一封
仲田 茂樹	天萬2番組	仲田 榮子	金一封
頼田 浩志	金田	頼田 良二郎	金一封
天野 正明	境	天野 忠明	金一封
齋鹿 健治	浅井	齋鹿 正市	金一封
竹中 真左美	ルーラルタウン	竹中 安明	金一封
細田 伸二	長田	細田 省三	金一封
足立 美之	馬場	足立 勉	金一封
野島 充子	三崎	芝田 信子	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額(円)
長尾 喜好	大河内	長尾 静枝	金一封
赤井 丈子	朝金	赤井 英祐	金一封
吉澤 純子	二桙	吉澤 登	金一封
乾 春樹	東西町3区	乾 雄二	金一封
濱脇 巖	東西町2区	濱脇 津多江	金一封
井上 直樹	北方	井上 憲幸	金一封
橋本 敏幸	上阿賀	橋本 佐奈枝	金一封
遠藤 歌與子	東西町2区	遠藤 明	金一封
小林 秀雄	田住	小林 榮子	金一封
岩田 宰子	西原	岩田 映友 岩田 千秋	金一封

◎ご寄付の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。

◎寄付金額等の記載につきましては、寄付者ご本人の意思によるものです。

新職員紹介

南部町の福祉の向上に貢献できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



福祉活動専門員
社会福祉士
はせがわ あやみ
長谷川 彩未

7月1日採用

車いすを貸し出します

貸出期間・利用料

- ・貸出期間は6か月以内
- ・利用料は1か月に満たない場合は無料。
- ・1か月を超え6か月までは2000円とする。

貸出対象

- ①南部町にお住まいで、本会の会員の方
- ②介護保険等、公的サービスにおける福祉用具貸与を受けることが困難な方。
- ③公的サービス利用対象外の方



令和7年度

南部町 社会福祉推進大会

参加費
無料

11/15 土

時間 09:30～12:00

会場 南部町富有まんてんホール
(南部町役場天萬庁舎3階)

記念講演

べらぼうに繋がるご縁嘸
～いまここでワタシにできること～

サロンのマンネリ化、担い手問題解決などのヒントになるかも？



講師

あそびの工房もくもく屋事務局長
コミュニケーションデザイナー

たがわ まさのり
田川 雅規 氏

その時その町その心が求める情報と納得体験を割烹着姿で
愉快地届けます。

「講演会らしくない講演会」を志に、「あそび」を道具に
しながら「場」を耕し、心を動かす。

帰り際の『今日はココに来てよかったわ～』のひと言をガ
ッチリ引き出します。

プログラム

- 開会式 ■南部町長表彰式
- 南部町社会福祉協議会会長
表彰式
- 5・6級ヘルパー認定式
- 夏休みボランティア体験
発表
- 記念講演 ■閉会式

どなたでも参加できます！
当日参加OK



学校の部活動はどうなる？

編集後記

今、公立学校の部活動が大きな転換期を迎えています。学校教育の一環として行われてきた部活動が、少子化や教員の働き方改革により、これまでのように学校という枠組みだけで維持することが難しくなっています。国では、二年前から部活動改革の取組みが行われており、部活動を地域のスポーツクラブや団体などが担うように地域へ移行し、地域が主体となって行われる地域クラブ活動として、地域社会全体で支えていく方向で進められています。まずは公立中学校の休日の運動部の活動を優先して地域移行し、その後段階的に、平日の運動部の部活動や文化系の部活動も地域移行が進められる予定となっています。現在、南部町の中学校の部活動もこの方向で進められています。

部活動が地域移行となれば、生徒にとっては学校の部活動では受けられない専門的指導を地域のスポーツクラブ所属の指導者などから受けられたり、自分が通う学校だけでは人数が足らずに出来なかった活動も地域で複数の生徒が集まることにより可能となったりして活動の可能性が広がります。一方、課題もあります。移行した地域に適切な指導者がいるのかという受け皿の問題や、これまで学校の人材や設備を使っていたのが外部の指導者や設備を使うことで費用が発生し、また、活動場所への送迎が必要になるなどの保護者の負担増の問題などがあります。

今後、部活動の形が変わったとしても、地域移行をきっかけに部活動の本来の教育的意義を思い返しながらい生徒が自由にスポーツや文化芸術に親しむ環境が整備されることを望みたいと思います。